

BY APPOINTMENT TO
THE ROYAL DANISH COURT

CARL HANSEN & SØN

カール・ハンセン&サン 協賛イベント情報

第793回デザインギャラリー1953企画展

「コア・クリント?ーデンマーク家具デザインのはじまりー」



2025年4月16日（水）ー 6月9日（月）の期間、日本デザインコミッティーが主催する、第793回デザインギャラリー1953企画展「コア・クリント?ーデンマーク家具デザインのはじまりー」が松屋銀座7階のデザインギャラリー1953にて開催されます。

2024年復刻したイングリッシュチェアなど、コア・クリントの数々の名作を製造・販売するカール・ハンセン&サンは、本展に協賛をしています。また、カール・ハンセン&サンの、「THE LAB」*の取り組みもご紹介します。*The Labについては2P参照

以下、日本デザインコミッティーのプレスリリースより

コア・クリントは20世紀初頭にデンマークモダン家具デザインを革新したパイオニアであり、そのシンプルで機能的なデザイン哲学は今日に至るまで、多くのデザイナーたちに影響を与えています。

本展では、デンマークモダン家具デザインの礎を築いたコア・クリントに焦点を当て、その偉業とデザイン哲学をご紹介します。

2024年に遂に復刻されたイングリッシュチェアをはじめ、フォーポーチェアなどクリントのデザイン哲学が反映された名作椅子の展示のほか、カール・ハンセン&サンが立ち上げた優れた家具職人の育成を目指した独自のアプレンティス（見習工）ワークショップ制度「THE LAB」の取り組みなど、家具デザインと職人文化を次世代につなぐ努力とその成果についてもご紹介いたします。

クリントを敬愛する教え子たちが、彼の理念をどのように現代に受け継ぎ、発展させてきたのか、デンマークモダン家具デザインの過去から現在、未来へとつながるストーリーを、ぜひお楽しみください。

主催：日本デザインコミッティー

メッセージ

伝統に学び、暮らしの変化や身体の声に寄り添いながら形を生み出す。コア・クリントの丁寧で探究的な仕事は、デンマークモダン家具デザインの芽吹きとなり、その学びを受け継いだ多くの後進と共に、豊かなデザイン文化の礎を築いた。合理性と手仕事、伝統と革新を往復しながら、クリントの哲学は今も若い作り手に受け継がれている。

鈴木元

展覧会概略

タイトル 第793回デザインギャラリー1953企画展
「コア・クリント？ーデンマーク家具デザインのはじまりー」
会期 2025年4月16日（水）ー6月9日（月） 最終日午後5時閉場・入場無料
※営業日・営業時間の詳細は松屋ウェブサイトをご覧ください www.matsuya.com
会場 松屋銀座7階・デザインギャラリー1953
〒104-8130 東京都中央区銀座3-6-1 Tel: 03-3567-1211（大代表）
主催 日本デザインコミッティー <https://designcommittee.jp>
協賛 カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社
展覧会担当 鈴木元

プレス向け内覧会

カール・ハンセン&サン 日本地区マーケティング・コミュニケーション部門責任者 阿部理歩が会場にてご案内申し上げます。皆様のお越しをお待ちしております。

日時： 4月16日（水） 11:00 – 12:00

会場： デザインギャラリー1953

問合せ先： 阿部理歩 ayab@carlhansen.jp

※開店時間内の開催となりますので、お客様にご配慮をお願いいたします。

THE LABについて

カール・ハンセン&サンでは、指導者のもと、アプレントイス（見習工）が、より深く技術を習得するためのワークショップ『THE LAB（ザ・ラボ）』を設けています。THE LABは優れた家具職人の育成と、デンマークのクラフトマンシップの継承を目的として設立されたワークショップで、アプレントイスが専門的な木工技術や工具の使い方を学び、仲間や指導者と共に様々なプロジェクトに取り組むための充実した設備が整っています。見習い期間は約4年間で、この間、アプレントイスは伝統的な接合技術やサンディング技術から修復方法、カスタムデザインまで、家具作りにおけるあらゆることを学びます。このワークショップの特色は、職人的な技法だけでなく、特殊な機械の使い方も学ぶことができる点にあります。

プレス関係のお問合せは下記までお願いいたします。

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社

Head of Marketing & Communications, Japan マーケティング・コミュニケーション部門責任者
阿部理歩 AYAHO ABE MAIL : ayab@carlhansen.jp

カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT

株式会社ハウ MAIL : chs_pr@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405

製品に関するメディア掲載時のクレジットは下記記載をお願いいたします。

カール・ハンセン&サン 東京本店/カール・ハンセン&サン大阪 <https://www.carlhansen.com>

もしくは

カール・ハンセン&サン 東京本店 TEL : 03-6455-5522

参考資料 カール・ハンセン&サンで展開するコア・クリントの代表作



KK44880 イングリッシュチェア

1931年にコペンハーゲンで開催された家具職人組合の秋期展示会にて、洗練され、卓越したクラフトマンシップが窺える KK44880 English (イングリッシュ) チェアを発表しました。クリントは英国スタイルの椅子の完成度に惹かれており、自分でも手掛けずにはられないほどでした。こうして生まれた English チェアは、家具づくりの頂点を反映したものとなりました。伝統的な家具職人の技を手作業で実現した English チェアは、装飾的なコントラストを生む椅子の脚と、アームレスト、バックレスト、座面下の高度なはめ込み細工という形で、木材を巧みに利用しています。椅子の側面、背面、座面に施された籐の複雑なフレンチ編みだけでも2週間を要し、1脚の椅子が完成するまでには8週間もかかります。お客様のお好みの木材と張地で、オーダーメイド注文のみ承りません。



KK96620 フォーボーチェア

1914年にデザインし、翌1915年に開館したフォーボー美術館の開館式典で一般に発表されました。

デンリッシュモダンの最初の名作として国際的な評価を受けるフォーボーチェア。この椅子をきっかけに、デンマークデザイン界は新しい時代に大きく一歩を踏み出しました。1950年代に大きく花開く、デンリッシュモダンの基盤を作ったデザインと言えます。

整然とした素材、形、構造の融合がフォーボーチェアの無駄のないフォルムの基盤。それまでになかった斬新な椅子ですが、古典デザインへの敬意とモダニズムが一つになった、クリントらしいデザインと言えます。優雅なフォルムに映えるクリントの稀有なバランスとプロポーション感覚。建築と家具デザインを分け隔てることなく、両方で一つと捉えるクリントの思想もこの椅子によく表れています。



KK47000 サファリチェア

サファリチェアの起源は、映画撮影監督とその妻がアフリカで使用した組立て式椅子。英国軍に使用された「Indian Rookhee Chair」を元にしたものと推測されます。おそらく世界初とも言える、初期の組立て式の家具の一つです。

元になった椅子は一切の接着剤、工具を用いずに組み立て可能で、また、座ることで接合部が締まり、より椅子の強度と安定感が増すという優れた構造を持っていました。

クリントは、この椅子のラインを明確にしたうえで簡素化。1933年、構造をより洗練化し、コペンハーゲン家具職人ギルド展において、サファリチェアとして発表しました。

クラフトマンシップ、美しいプロポーション、考慮された素材の使い方。英国軍の椅子の影響を受けているものの、理路整然とデザインに取り組む、クリントらしい洗練された軽量の椅子に仕上がっています。



KK87830 プロペラスツール

発案当初、製作が困難と言われた当時最先端のデザイン。1930年にそのデザインが発表されるとすぐに大きな注目を集め、数多くのデザイン関連書籍に紹介されました。

そして1956年、デンマーク工芸博物館で開催されたコア・クリント展のために初めて試作品が完成。1962年になって製造が開始されました。クリントが他界してから8年後のことです。1964年、コア・クリントの息子、ナウア・クリントが中心となって開催されたコペンハーゲン家具職人ギルド展で一般に発表されました。

折りたたみ式椅子は当時も、新しいものではありませんでした。そのコンセプトは古くは青銅器時代に遡ります。この椅子で新しいのはプロペラという要素。これを取り入れることにより、より洗練された機能性の高い折りたたみ椅子が完成したのです。

繊細で洗練されたスツールの素材には長く、強度にすぐれた繊維をもつ木材を使用。座面はキャンバスまたは皮革。ローテーブルとして使用することを考慮したプロペラスツール用のトレイ KK87831も用意されています。